

コロナ禍における社会教育について～次世代育成の視点から～

取り組み状況など	担当課
<p><b>&lt;取り組みの振り返り&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育コーディネーターに対してコミュニティ・スクール導入を見据えた研修を実施した。</li> <li>・社会教育委員会議ワークショップに新潟市若者支援センターのユースアドバイザーが参加した。</li> <li>・オンデマンド研修、オンライン研修を活用した。</li> <li>・新潟市若者支援センターの臨時休館中は、相談者への電話連絡を実施した。</li> </ul> <p><b>&lt;今後の取り組み&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、コロナ禍であっても施設の利用継続に向けた取り組みを検討する。</li> <li>・対面での研修に加え、オンデマンド研修やオンライン研修の場面に応じた実施などの工夫を行う。</li> <li>・多様な施設等とのつながりを構築する。(新潟市若者支援センターのボランティア参加など)</li> </ul>	<p>地域教育 推進課</p>
<p><b>&lt;新たな学び方&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大により対面での学習方法が制限されたことに対し、オンラインを活用した学習機会を提供するため、令和2年6月に生涯学習センターと中央公民館が連携し「オンライン活用推進(Zoom)支援チーム」を結成した。職員に対しZoomを活用した会議や講座開催について継続的に助言と支援を行うことで職員の習熟度が向上し、対面方式と遜色ない学習機会を提供することができた。</li> <li>・一方、市民に対しては、オンラインを活用した事業等へ参加できるよう、Zoom基本操作研修を行った。受講者の半数が参加理由として「オンラインで開催される講座等が増えてきたため」と答えており、市民の学習方法の確保・拡充につなげることができた。</li> </ul> <p><b>&lt;次世代育成の必要性&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ「社会教育による次世代育成」は、多様な分野で活動する関係者が、交流・対話を通じて他分野の活動について学び、自身の活動のヒントを得るとともに、次世代育成について考える機会になった。</li> <li>・ワークショップの意見交換では、次世代育成に向けた課題や解決策として、多くの参加者から「地域と学校とのつながり」について意見が出された。地域と学校が共通の目標を持ち、学校と社会教育施設、学校、地域をつなぐネットワークづくりを進める必要がある。その中で、学び、育ち、つながる社会教育施設として、より一層、地域課題の解決や地域活性化を推し進める人材を育成していく。</li> </ul>	<p>生涯学習 センター</p>

取り組み状況など	担当課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても感染リスクを軽減しながら公民館事業を実施するため「新型コロナウイルス感染拡大予防に伴う事業・講座実施基準」を策定し、これに沿って事業を実施している。(R2. 3. 30 付で適用開始、随時改定)  <b>【具体例】</b> 会場規模、講座内容による定員調整、県外往来者等の受講への制限、事業（講座）実施の是非の決定 等々</li> <li>・新たな取り組みとして、密集・密接を避け感染リスクを抑え、安心して講座に参加できるよう「オンライン」形式による講座の開催も試みている。実施にあたっては生涯学習センターと連携し「オンライン活用推進（Zoom）支援チーム」を結成し、各公民館が行うオンライン講座の実施を支援している。</li> <li>・公民館利用者団体に対しては「新しい生活様式に基づく新潟市社会教育施設等利用ガイドライン」を策定し、感染拡大の防止と公民館での活動の両立を進めている。(R2. 5. 18 付で運用開始、随時改定)  <b>【具体例】</b> 体調不良時の活動自粛、手指消毒の実施、マスク着用、3密（密集・密接・密閉）回避 等々</li> <li>・今後の課題としては、オンラインを活用した講座等の実施について、職員の知識不足や苦手意識があることから、支援チーム等を通じてその改善を図り、さらなるオンラインの活用を推進していく。</li> <li>・今後も感染拡大を防止しながら、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促す、人づくり・地域づくりに努めていく。</li> </ul>	中央 公民館
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年4月からの緊急事態宣言期間は、図書館も他の施設同様に臨時休館となったが、その後は、ガイドラインに沿った感染症対策を徹底し、図書館サービスを継続している。</li> <li>・今月から導入する電子書籍で、非来館型のサービスを開始。来館しなくても読書の機会を提供するとともに、子どもたちのタブレットを使った学習と連携を進めていく。</li> <li>・ボランティア活動については、読み聞かせ等の人と人との距離が近い活動については中止期間もあったが、感染状況に応じて対策を行った上で実施。また、書架整理等の個人的な活動については継続実施。</li> <li>・対面朗読は、朗読者と利用者の距離が近いことから、研修室など広い部屋で行ってきたが、声が聞き取りにくいという意見があり、オンラインによる方法を開始している。</li> <li>・新潟市子ども読書活動推進計画では、社会全体で「読書のバトン」を未来へつなぐことを目的としている。今後、出産前後の保護者への働きかけに取り組むことにより、出産から学童への切れ目のない支援を行っていく。</li> </ul>	中央 図書館